○お知らせ

静岡県における水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方について

～インターネットによる県民の皆様への情報提供～

豪雨災害等の総合的な水害・土砂災害対策を進めるにあたり、国土交通省と静岡県は、静岡県を６つの圏域に分割し、圏域毎に「総合流域防災協議会」（総流防協議会）を平成１７年度出水期前に設立し、水害・土砂災害対策の当面の課題や整備状況等に関して、情報共有・意見交換を行うとともに、共通の認識のもとに連携し、双方の施行事業の進め方について調整等を進めてきました。

このたび、協議会の検討結果をとりまとめ、「静岡県における水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方（Ｈ１９年度版）」として県民の皆様へインターネットにより情報提供を行います。

＜公表資料概要＞

１．総合流域防災協議会
　・目的、圏域区分図

２．水害・土砂災害発生状況
　・水害・土砂災害発生状況

３．水害・土砂災害リスク評価
　・水害リスク評価、土砂災害対策

４．当該年度事業実施箇所
　・Ｈ１９年度 事業実施箇所位置図、事業実施箇所一覧表

５．水害・土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方
　・県全体及び各圏域の水害・土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

＜情報提供開始日＞

平成１９年９月１３日（予定）

＜情報提供ホームページ＞

○静岡県
建設部ホームページ　(http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/index.html)

○静岡市
河川課ホームページ　(http://www.city.shizuoka.jp/deps/kasen/index.html)

○浜松市
浜松市ホームページ　(http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/)

○関東地方整備局
甲府河川国道事務所　(http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/)

○中部地方整備局
沼津河川国道事務所　(http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/)
富士砂防事務所　(http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/)
静岡河川工事事務所　(http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/)
長島ダム管理所　(http://www.cbr.mlit.go.jp/nagashima/index.html)
浜松河川国道事務所　(http://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/)

総流防協議会の公表資料について

静岡県における水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

平成１９年８月

狩野川圏域総合流域防災協議会
富士川圏域総合流域防災協議会
安倍川圏域総合流域防災協議会
大井川圏域総合流域防災協議会
菊　川圏域総合流域防災協議会
天竜川圏域総合流域防災協議会

目　　次

１．総合流域防災協議会
（１）目的　・・・・・・3
（２）圏域区分図　・・・・・・3

２．水害・土砂災害発生状況
※静岡県　水害・土砂災害発生状況図　……　図面１　・・・・・・4

３．水害・土砂災害リスク評価
※静岡県　水害リスク評価　……　図面２　・・・・・・5
静岡県の土砂災害対策　……　図面３　・・・・・・6

４．当該年度事業実施箇所（図・一覧表）
※静岡県　Ｈ１９年度 事業実施箇所位置図　……　図面４　・・・・・・8
静岡県　Ｈ１９年度事業実施箇所一覧表　・・・・・・9

５．水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・13
（１）県全体の水害・土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・13
１）水害対策の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・14
２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・14
３）水害・土砂災害における総合的な危機管理対策　・・・・・・15

（２）狩野川圏域　・・・・・・16
１）水害対策の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・16
２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・16

（３）富士川圏域　・・・・・・18
１）水害対策の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・18
２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・18

（４）安倍川圏域　・・・・・・20
１）水害対策の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・20
２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・21

（５）大井川圏域　・・・・・・22
１）水害対策の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・22
２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・22

（６）菊　川圏域　・・・・・・23
１）水害対策の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・23
２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・23

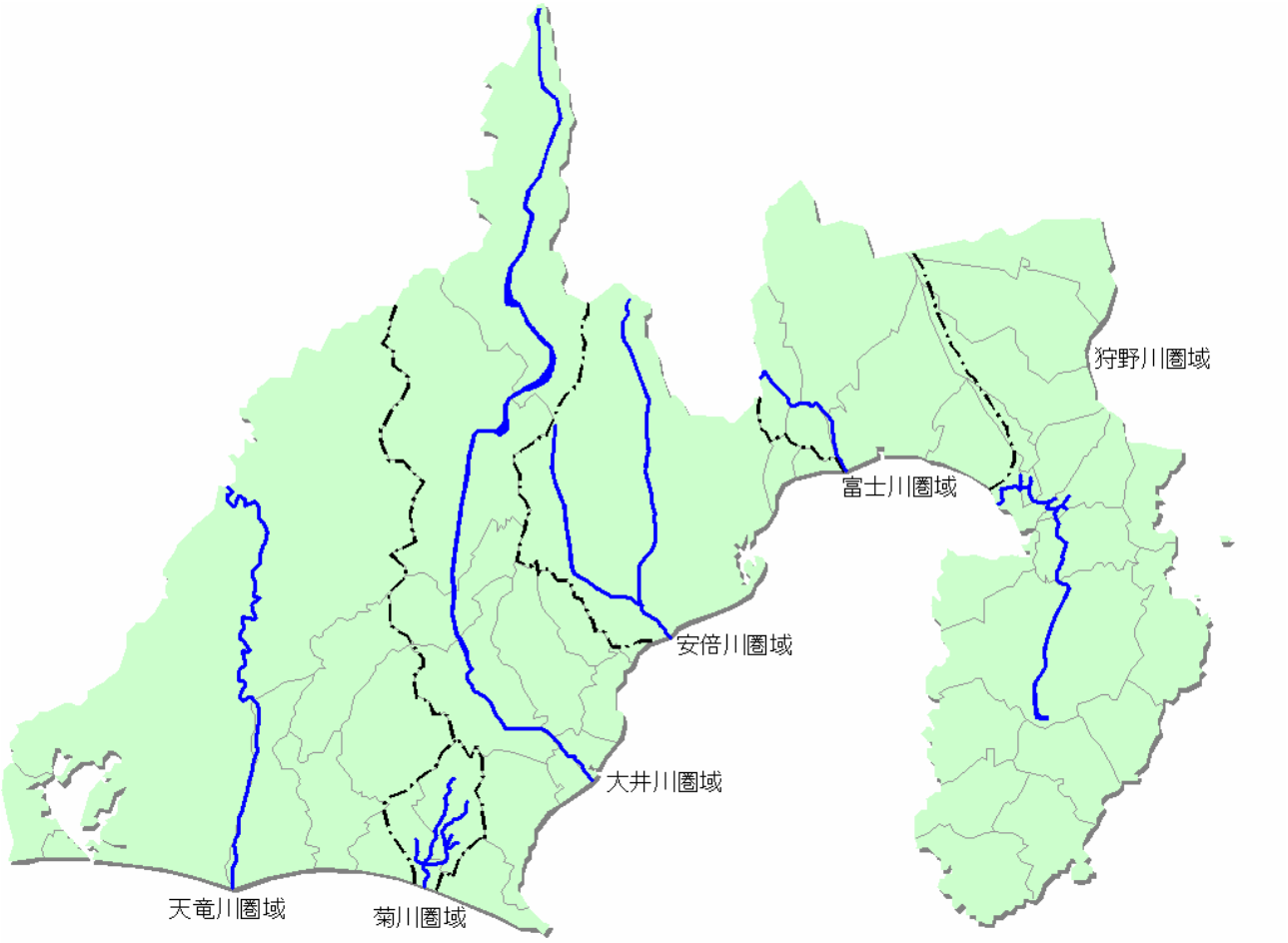
（７）天竜川圏域　・・・・・・24
１）水害対策の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・24
２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方　・・・・・・24

１．総合流域防災協議会

（１）目　的

豪雨災害等の総合的な水害・土砂災害対策を進めるにあたり、国土交通省と静岡県は、水害・土砂災害対策の当面の課題や整備状況等に関して、情報共有・意見交換を行うとともに、共通の認識のもとに連携し、双方の施行事業の進め方について調整し、効果的・効率的に安全度の向上を図っていくために、静岡県を６つの圏域に分けて、圏域毎に総合流域防災協議会を平成１７年度出水期前に設立しました。

（２）圏域区分図

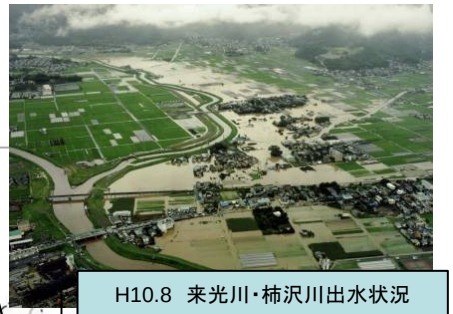


図面1

2. 静岡県　水害・土砂災害発生状況図

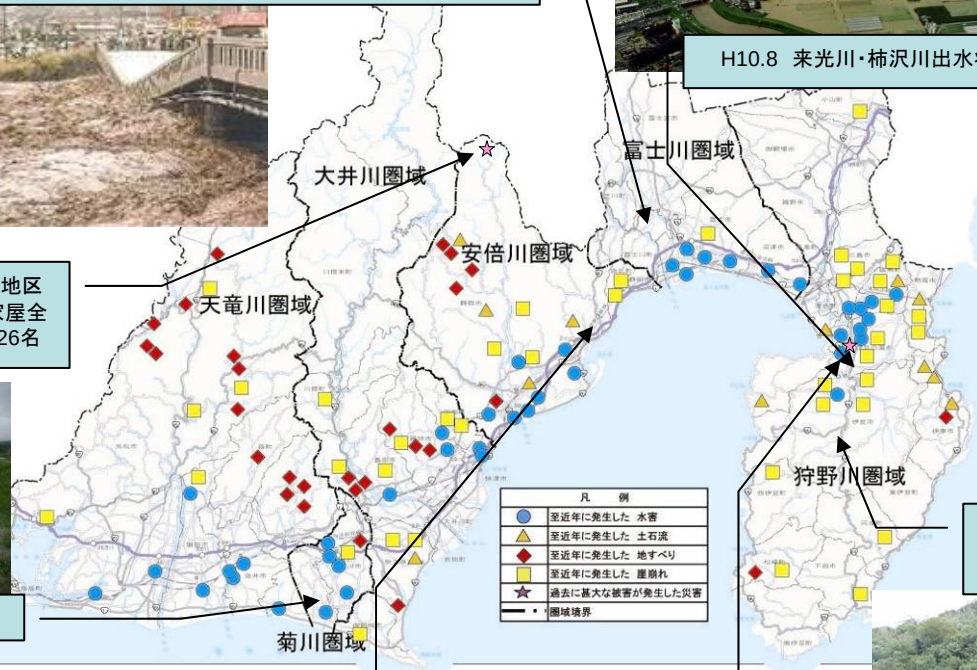
1. 水害は、平野部に集中
2. 土砂災害は、中山間地に集中
3. 近年ではH16の台風22号により県内全域で内水被害・土砂災害等が発生

S54.10.19　台風20号　潤井川
家屋全壊3戸、半壊10戸　床上浸水702戸、床下浸水190戸



H10.8　来光川・柿沢川出水状況

S41.9　梅ヶ島地区
土石流により家屋全壊11戸、死者26名



S33.9　洪水（狩野川台風）
・天城山系一帯で約1,200箇所の山腹・渓岸崩壊が発生
・堤防決壊（破堤15箇所、延長6,607m、決壊7箇所）
・氾濫面積3,000ha、死者・行方不明者853名、家屋被害6,775戸

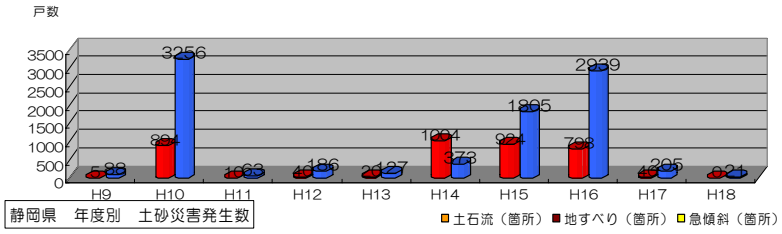
至近10年の圏域別災害発生状況

	合計	
	床下	床上
狩野川圏域	2,374	1,877
富士川圏域	546	95
安倍川圏域	2,615	1,207
大井川圏域	854	186
菊　川圏域	499	56
天竜川圏域	2,175	314
静岡県全体	9,063	3,735

H16.10　台風22号　菊川

H16.10　台風22号
伊豆市上船原　地区
家屋全壊、死者1名

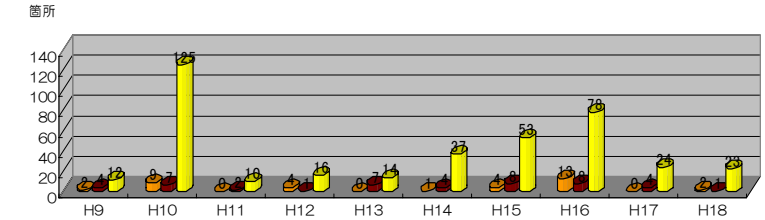
静岡県　年度別　水害発生数



S49.7.7　七夕豪雨
国道1号線23日間不通
JR東海道本線7日間不通

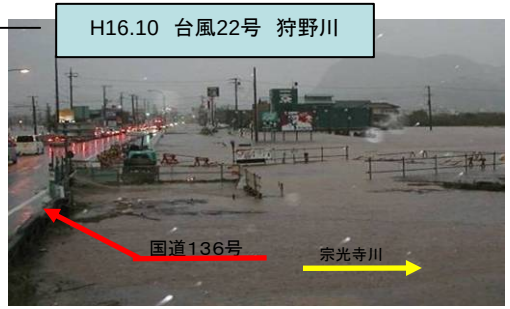
静岡市内の浸水状況

静岡県　年度別　土砂災害発生数



東海道本線の災害状況（由比町）

H16.10　台風22号　狩野川



図面2

3. 静岡県　水害リスク評価

この水害リスク評価は、洪水や高潮が発生した時、相当程度の被害発生のリスクを知っていただくために、一定の改修が必要な区間を評価しました。
リスク評価は以下の4点に基づいています。

1. 現在の川の断面積で、洪水を安全に流すことが出来る最大の流量（流下能力）を評価しました。
2. 各河川により対象降雨や計画規模が異なります。
3. 高潮が影響する区間の評価は、堤防の高さと断面での評価も併せて行っています。
4. 洪水による洗堀、地震や津波に対する安全性は表現していません。

河積阻害となっている橋梁
狩野川水系黄瀬川橋

菊川水系下小笠川捷水路
（H18．3月完成）

天竜川水系
池田河道掘削

安倍川下流域の河床上昇状況

国管理河川の流下能力の評価	
表示方法	整備の目標
	計画規模*1の流量を満足する区間
	当面の計画規模*2の流量を満足する区間
	当面の計画規模*2の流量に満たない区間

注）＊1：
狩野川　4,000m3/sec（年超過確率1／100程度）
既往最大洪水（S33．9狩野川台風）
富士川　16,600m3/sec（年超過確率1／150程度）
安倍川　6,000m3/sec（年超過確率1／150程度）
大井川　9,500m3/sec（年超過確率1／100程度）
菊　川　年超過確率1／100程度の流量
天竜川　鹿島より上流：年超過確率1／100程度の流量
鹿島より下流：年超過確率1／150程度の流量

＊2：
狩野川　3,100m3/sec（年超過確率1／50程度）
狩野川台風に次ぐ規模の洪水
富士川　14,300m3/sec（戦後最大規模）
安倍川　4,400m3/sec（年超過確率1／30程度）
大井川　7,850m3/sec（年超過確率1／30程度）
菊　川　平成10年9月洪水相当の流量
天竜川　戦後最大規模の流量

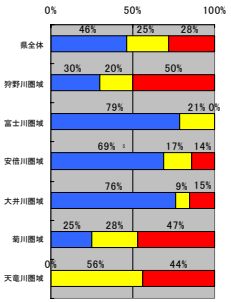
県管理河川の流下能力の評価	
表示方法	整備の目標
	計画規模*1の流量を満足する区間
	当面の計画規模*2の流量を満足する区間
	当面の計画規模*2の流量に満たない区間

注）＊1：　時間雨量90mm相当（年超過確率1／50程度）又は、
時間雨量80mm相当（年超過確率1／30程度）

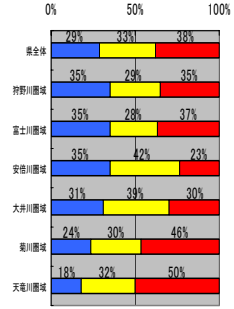
＊2：　時間雨量50mm相当（年超過確率1／5程度）

高潮区間の堤防の評価		
表示方法	計画高さ	計画断面
	満足する区間	満足する区間
	満足する区間	満たない区間
	満たない区間	満足する区間
	満たない区間	満たない区間

直轄河川整備状況



県管理河川整備状況



3. 静岡県の土砂災害対策（その1）

図面3

あなたのまちの危険箇所

市町別土砂災害危険箇所数とソフト対策の実施状況

（平成19年4月1日 現在）

所管土木	市町村名	土砂災害危険箇所 危険箇所数				土砂災害警戒区域等 区域指定状況				ハザードマップ作成状況（作成年度）	危険箇所表示板設置数	情報機器の整備	
		土石流	地すべり	急傾斜地	計	土石流	地すべり	急傾斜地	計			機器の種別	設置年度
下田	下田市	235		311	546	7		12	19	H16	238	CATV、メール配信	H14
	東伊豆町	23	6	56	85					H16	57		
	河津町	92	5	112	209					H16	110	CATV、有線電話	H14
	南伊豆町	252	1	245	498					H16	215	メール配信	H14
	松崎町	92	1	128	221					(H8) H18	144	CTI、同報無線	H16
	西伊豆町	86	1	116	203					(H8) H18	136		
	小　計	780	14	968	1,762	7		12	19		900		
熱海	熱海市	98	1	167	266	3		24	27	H16	202	CTI、同報無線	H16
	伊東市	105	2	216	323	1		4	5	H14	169	CATV	H15
	小　計	203	3	383	589	4		28	32		371		
沼津	沼津市	116		169	285	11		32	43	H15	180	同報無線	H15
	三島市	23		82	105			30	30	H15	55	CTI、同報無線	H17
	御殿場市	30		7	37					H13	17		
	裾野市	44		38	82					H16	54		
	伊豆市	480	8	371	859			34	34	H15	627	CTI、電話応答装置	H18
	伊豆の国市	103	1	198	302			23	23	H15	135	同報無線、電話応答装置	H15（旧大仁）
	函南町	32	1	74	107	2		9	11	H14	46		
	清水町	2		16	18	2		5	7	H15	7		
	長泉町	2		29	31					H15	13		
	小山町	47		61	108					H16	71		
	小　計	879	10	1,045	1,934	15		133	148		1,205		
富士	富士宮市	40		111	151	5		3	8	H15	57	同報無線、電話応答装置	H16
	富士市	24		108	132					H13	45	コミュニティFM送信装置	H17
	芝川町	67	1	164	232					H13	129		
	小　計	131	1	383	515	5		3	8		231		
静岡	静岡市	893	5	1,703	2,601	43		41	84	(H9) H19	1,331	CTI	H18
	富士川町	33	1	60	94					H13	39		
	由比町	26	6	80	112					H16	35		
	小　計	952	12	1,843	2,807	43		41	84		1,405		
島田	島田市	163	13	389	565					H15・H16	227	インターネット配信	H14
	焼津市	24	1	48	73			13	13	H14	57		
	藤枝市	119	26	318	463	12		25	37	H13	240	CTI	H14
	岡部町	86	1	128	215					H13	85	同報無線	H14
	大井川町												
	川根町	35	13	104	152					H13	152		
	川根本町	42		143	185					H13	184		
	小　計	469	54	1,130	1,653	12		38	50		945		
御前崎	御前崎市	12		324	336			9	9	H16	26		
	牧之原市	44	2	320	366					H15・H16	66		
	吉田町			6	6					H16	2		
	小　計	56	2	650	708			9	9		94		
袋井	磐田市	66		211	277			2	2	H15	44		
	掛川市	134	11	881	1,026	33		76	109	H15	149	同報無線、電話応答装置	H15、H16
	袋井市	32		220	252			7	7	H15	45	CTI	H16
	菊川市	44		423	467			24	24	H16	98	CTI、メール配信	H16
	森町	59	5	364	428			3	3	H13	54	同報無線、電話応答装置	H15
	小　計	335	16	2,099	2,450	24		121	145		390		
浜松	浜松市（1）	292	66	898	1,256	76		73	10	(H9～H15) H18	567	CTI、同報無線	H13～H15
	浜松市（2）	148	5	1,183	1,336	7		31	28	H13～H16	278	同報無線、電話応答装置	H15（旧引佐）
	浜松市計	440	71	2,081	2,592	83		104	187		845		
	湖西市	2		151	153					H15	34		
	新居町			30	30					H16	16		
	小　計	150	5	1,364	1,519	83		104	187		895		
合　計		4,247	183	10,763	15,193	202		480	682		6,436		

■CTI：予め登録された住民の方々へ、市町から自動的に土砂災害情報を電話連絡するシステム
■浜松市（1）は浜松土木天竜支局管内、浜松市（2）は浜松土木天竜支局管内以外

3. 静岡県の土砂災害対策（その2）

図面3

あなたのまちの安全度

市町別ハード対策（土砂災害防止施設の整備）の実施状況

（平成19年4月1日 現在）

所管土木	市町村名	土石流			地すべり			急傾斜地			合　計		
		要対策渓流数	概　成渓流数	整備率（％）	要対策箇所数	概　成箇所数	整備率（％）	要対策箇所数	概　成箇所数	整備率（％）	要対策箇所数	概　成箇所数	整備率（％）
下田	下田市	94	15	16.0				164	23	12.8	258	38	14.7
	東伊豆町	16	8	50.0	6	1	16.7	38	7	18.4	60	16	26.7
	河津町	53	13	24.5	5	2	40.0	44	12	27.3	102	27	26.5
	南伊豆町	119	10	8.4	1	1	100.0	131	34	25.2	251	45	17.9
	松崎町	71	7	9.9	1	1	100.0	77	18	23.4	149	26	17.4
	西伊豆町	64	16	25.0	1			67	17	23.9	132	33	25.0
	小　計	417	69	16.5	14	5	35.7	521	111	20.5	952	185	19.4
熱海	熱海市	91	17	18.7	1			95	12	12.6	187	29	15.5
	伊東市	82	20	24.4	2	1	50.0	110	23	20.0	194	44	22.7
	小　計	173	37	21.4	3	1	33.3	205	35	16.6	381	73	19.2
沼津	沼津市	96	19	19.8				128	67	50.8	224	86	38.4
	三島市	15	2	13.3				39	16	41.0	54	18	33.3
	御殿場市	8	5	62.5				3			11	5	45.5
	裾野市	23	8	34.8				24	6	25.0	47	14	29.8
	伊豆市	328	52	15.9	8	1	12.5	148	29	18.2	484	82	16.9
	伊豆の国市	74	2	2.7	1			82	25	26.8	157	27	17.2
	函南町	14	3	21.4	1			32	5	15.6	47	8	17.0
	清水町	2	1	50.0				11	1	9.1	13	2	15.4
	長泉町	1						18	1	5.6	19	1	5.3
	小山町	35	9	25.7				37	16	43.2	72	25	34.7
	小　計	596	101	16.9	10	1	10.0	522	166	30.5	1,128	268	23.8
富士	富士宮市	34	6	17.6				33	11	33.3	67	17	25.4
	富士市	20	10	50.0				34	16	44.1	54	26	48.1
	芝川町	32	8	25.0	1			48	8	16.7	81	16	19.8
	小　計	86	24	27.9	1			115	35	29.6	202	59	29.2
静岡	静岡市	523	102	19.5	5	3	60.0	632	253	39.1	1,160	358	30.9
	富士川町	28	6	21.4	1	1	100.0	21	12	57.1	50	19	38.0
	由比町	17	8	47.1	6			22	11	50.0	45	19	42.2
	小　計	568	116	20.4	12	4	33.3	675	276	40.0	1,255	396	31.6
島田	島田市	65	13	20.0	13	6	46.2	107	49	43.9	185	68	36.8
	焼津市	13	7	53.8	1	1	100.0	25	19	76.0	39	27	69.2
	藤枝市	36	7	19.4	26	4	15.4	75	38	49.3	137	49	35.8
	岡部町	33	17	51.5	1	2	100.0	42	13	31.0	76	32	42.1
	大井川町												
	川根町	18	3	16.7	13			25	11	40.0	56	14	25.0
	川根本町	23	4	17.4				33	8	21.2	56	12	21.4
	小　計	188	51	27.1	54	13	24.1	307	138	43.3	549	202	36.8
御前崎	御前崎市	1						33	14	42.4	34	14	41.2
	牧之原市	13	11	84.6	2	3	100.0	57	16	26.3	72	30	41.7
	吉田町							3	2	66.7	3	2	66.7
	小　計	14	11	78.6	2	3	100.0	93	32	33.3	109	46	46.0
袋井	磐田市	20	1	5.0				33	3	9.1	53	4	7.5
	掛川市	39			11	4	36.4	102	19	18.6	152	23	15.1
	袋井市	7						30	9	26.7	37	9	24.3
	菊川市	9	2	22.2		1		84	26	31.0	93	29	31.2
	森町	23	5	21.7	5	2	40.0	26	3	11.5	54	10	18.5
	小　計	98	8	8.2	16	7	43.8	275	60	21.5	389	75	19.3
浜松	浜松市（1）	128	42	32.8	66	19	28.8	306	61	19.6	500	122	24.4
	浜松市（2）	43	8	18.6	5	3	60.0	281	61	21.7	329	72	21.9
	浜松市計	171	50	29.2	71	22	31.0	587	121	20.6	829	194	23.4
	湖西市							38	5	13.2	38	5	13.2
	新居町							16	4	25.0	16	4	25.0
	小　計	43	8	18.6	5	3	60.0	335	70	20.9	883	203	23.0
合　計		2,311	467	20.2	183	56	30.6	3,354	984	29.3	5,848	1,507	25.8

■要対策箇所：人家5戸以上に被害を及ぼす恐れのある危険箇所のうち、人工斜面や他事業で対応すべき箇所を除いた箇所

4. 静岡県　H19年度事業実施箇所位置図

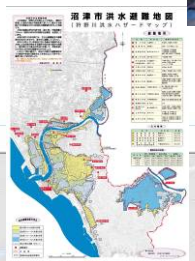
図面4

H19年度事業実施箇所は、水害・土砂災害の発生状況や河川・砂防の整備状況を踏まえ、別添のH19年度事業実施箇所一覧表に示すハード・ソフト対策を予定しています。 本位置図は、これらの大まかな位置を示しています。

また、下記の事項について整備・強化を進めます。

- 警戒避難体制の整備・強化（災害情報協議会、ハザードマップ作成支援、土砂災害警戒区域等の指定、防災訓練の実施等）
- 災害情報の伝達・提供（雨量や水位の情報に加え、避難勧告等の発令基準となる情報提供）
- 災害発生時の広域的な対応（防災ステーションの活用、ヘリコプターによる情報収集やポンプ車等の災害対策車配備等の広域支援等）
- 水防活動の充実（洪水予報・水位情報周知河川の拡大、水防協力団体指定制度の活用等）

10 韮山古川護岸整備工（床上基幹1）



ハザードマップ作成例

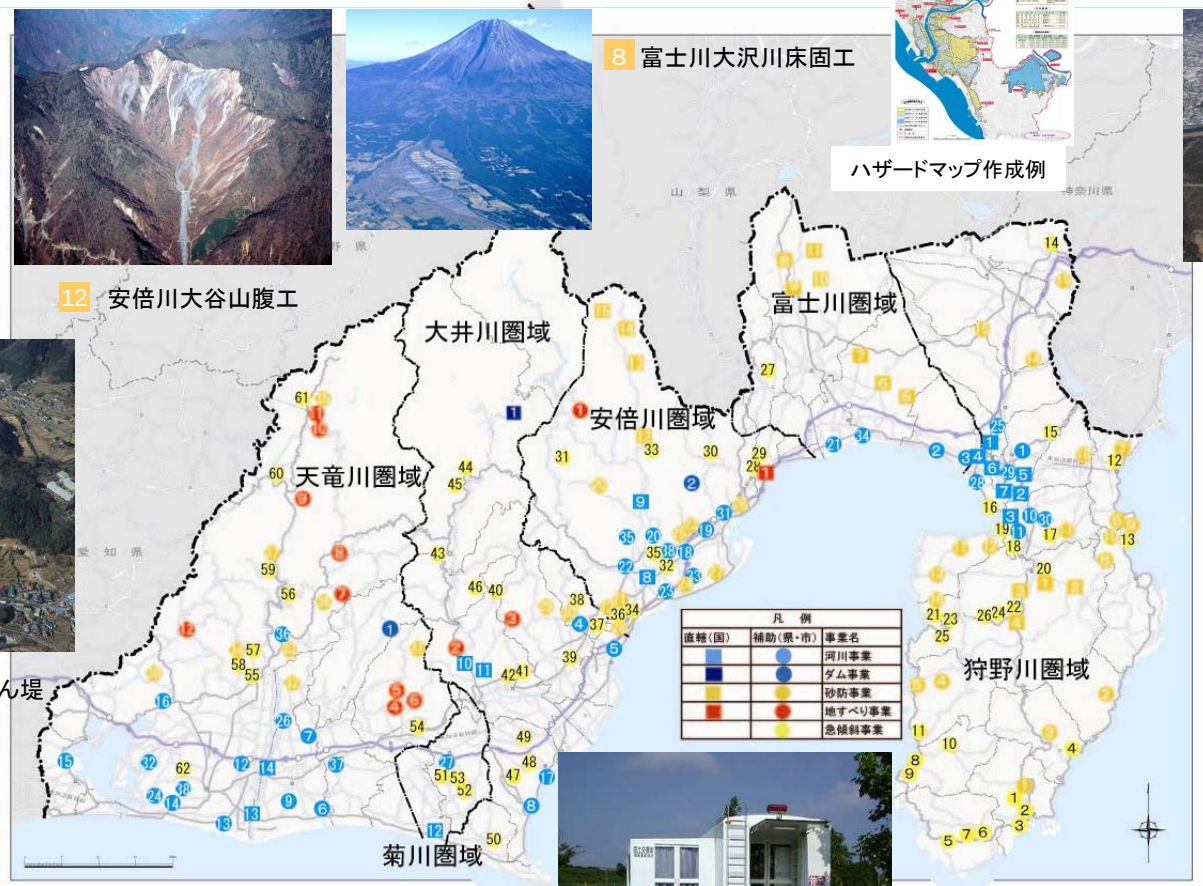
1 太田川ダム

12 安倍川大谷山腹工

8 富士川大沢川床固工

4 木瀬川排水樋管

4 狩野川月ヶ瀬砂防えん堤



排水ポンプ車

照明車

10 安倍川左岸堤防補強工

災害対策本部車

静岡県H19年度事業実施箇所一覧表（直轄）

河川事業

NO	事業名	市町村名	水系名	河川名（地区名）	工区名	主な事業内容	圏域名
1	特定構造物改築事業	沼津市	狩野川	黄瀬川	黄瀬川橋	修正設計	狩野川
2	床上浸水対策特別緊急事業	伊豆の国市	狩野川	狩野川	原木	排水ポンプ設置	狩野川
3	床上浸水対策特別緊急事業	伊豆の国市	狩野川	狩野川	神島	機場本体工	狩野川
4	直轄河川改修事業	沼津市	狩野川	狩野川	木瀬川地区	樋管工、築堤工、護岸工	狩野川
5	直轄河川改修事業	伊豆の国市	狩野川	柿沢川	長崎	取付水路	狩野川
6	直轄総合水系環境整備事業	清水町・沼津市	狩野川	狩野川	徳倉	高水敷整正工	狩野川
7	直轄総合水系環境整備事業	函南町	狩野川	狩野川	肥田	水際推移帯試験施工	狩野川
8	直轄河川改修事業	静岡市	安倍川	安倍川	安倍川左岸地区	堤防補強工	安倍川
9	直轄総合水系環境整備事業	静岡市	安倍川	安倍川	牛妻	護岸工、高水敷整正工	安倍川
10	直轄河川改修事業	島田市	大井川	大井川	牛尾	築堤工、護岸工	大井川
11	直轄総合水系環境整備事業	島田市	大井川	大井川	赤松	親水護岸工	大井川
12	直轄河川改修事業	掛川市	菊川	菊川	同所	河道整備工事	菊川
13	直轄総合水系環境整備事業	浜松市	天竜川	天竜川	河輪	水辺の楽校整備事業	天竜川
14	直轄河川改修事業	磐田市	天竜川下流	天竜川下流	池田	河道整備工事	天竜川

砂防事業

1	直轄砂防事業	伊豆市	狩野川	狩野川	日向	砂防えん堤工	狩野川
2	直轄砂防事業	伊豆市	狩野川	城川	八幡	砂防えん堤工	狩野川
3	直轄砂防事業	伊豆市	狩野川	深沢川	大平	床固工群	狩野川
4	直轄砂防事業	伊豆市	狩野川	狩野川	月ヶ瀬	砂防えん堤工	狩野川
5	直轄砂防事業	富士市	富士川	沼川	須津川	砂防えん堤工	富士川
6	直轄砂防事業	富士市	富士川	沼川	赤淵川	砂防えん堤工	富士川
7	直轄砂防事業	富士市	富士川	潤井川	凡夫川	砂防沈砂地工	富士川
8	直轄砂防事業	富士宮市	富士川	芝川	猪の窪川	護岸工	富士川
9	直轄砂防事業	富士宮市	富士川	潤井川	大久保沢	砂防沈砂地工	富士川
10	直轄砂防事業	富士宮市	富士川	潤井川	鞍骨沢	砂防えん堤工	富士川
11	直轄砂防事業	富士宮市	富士川	潤井川	大沢川	床固工	富士川
12	直轄砂防事業	静岡市	安倍川	安倍川	中尾沢	砂防えん堤工	安倍川
13	直轄砂防事業	静岡市	安倍川	安倍川	関之沢	CCTV設置工事	安倍川
14	直轄砂防事業	静岡市	安倍川	安倍川	ウラの沢	土石流対策事業	安倍川
15	直轄砂防事業	静岡市	安倍川	安倍川	大谷	山腹工	安倍川

地すべり対策事業

1	地すべり対策事業	由比町	－	－	由比地区	抑制工、工事用道路	安倍川

ダム事業

1	直轄堰堤維持事業	榛原郡川根本町	大井川	大井川	川根本町	光ケーブル・CCTV設置工事	大井川

静岡県H19年度事業実施箇所一覧表（補助）

河川事業（国庫補助事業）

NO	事業名	市町村名	水系名	河川名（地区名）	工区名	主な事業内容	圏域名
1	広域基幹1	三島市	狩野川	大場川	大場川	築堤工・掘削工・護岸工	狩野川
2	広域基幹1	沼津市	富士川	沼川	沼川	築堤工・用地補償	富士川
3	広域基幹2	沼津市	新中川	新中川	新中川	護岸工	富士川
4	広域基幹2	藤枝市、焼津市、岡部町	瀬戸川	瀬戸川	朝比奈川	護岸工・用地補償費	大井川
5	広域基幹2	焼津市	瀬戸川	瀬戸川	石脇川	橋梁下部工・護岸工	大井川
6	広域基幹2	磐田市,袋井市	太田川	太田川	太田川	掘削工・築堤工	天竜川
7	広域基幹2	磐田市	太田川	太田川	敷地川	樋門工・護岸工	天竜川
8	広域基幹2	牧ノ原市	萩間川	萩間川	萩間川	用地補償	大井川
9	総合内水	磐田市	太田川	今ノ浦川	今ノ浦川	測量調査設計・用地補償	天竜川
10	床上基幹1	伊豆の国市	狩野川	韮山古川	韮山古川	橋梁工・護岸工	狩野川
11	床上基幹1	伊豆の国市	狩野川	戸沢川	戸沢川	測量調査設計・用地買収	狩野川
12	都市基幹1	浜松市	天竜川	安間川	安間川	用地補償	天竜川
13	都市基幹2	浜松市	馬込川	馬込川	芳川	掘削工・用地補償	天竜川
14	都市基幹2	浜松市	都田川	都田川	新川	築堤工	天竜川
15	都市基幹2	湖西市	都田川	都田川	入出太田川	護岸工	天竜川
16	都市基幹2	浜松市	都田川	都田川	井伊谷川	護岸工	天竜川
17	耐震2	牧ノ原市	勝間田川	駿河湾地区	勝間田川	測量調査設計、道路工、護岸工	大井川
18	総治2	静岡市	巴川	巴川	巴川（放水路）	底張り工	安倍川
19	総治2	静岡市	巴川	巴川	巴川 （大内遊水地）	掘削築堤	安倍川
20	総治2	静岡市	巴川	巴川	巴川 （麻機遊水地）	掘削築堤、道路工	安倍川
21	都市基盤1	富士市	富士川	富士早川	富士早川	護岸工・用地買収	富士川
22	都市基幹1	静岡市	安倍川	大門川	大門川	護岸工	安倍川
23	都市基幹2	静岡市	浜川	浜川	浜川	物件補償	安倍川
24	都市基幹2	浜松市	都田川	九領川	九領川	水路工	天竜川
25	総流防（広域一般1）	長泉町	狩野川	黄瀬川	梅の木沢川	護岸工	狩野川
26	総流防（広域一般1）	磐田市	天竜川	一雲済川	一雲済川	橋梁工・用地補償	天竜川
27	総流防（広域一般1）	菊川市	菊川	西方川	西方川	測量調査設計	菊川
28	総流防（広域一般1）	沼津市	狩野川	沼津江川	沼津江川	護岸工・根固め工	狩野川
29	総流防（広域一般1）	三島市,清水町	狩野川	境川	境川	護岸工、橋梁下部工	狩野川
30	総流防（広域基幹1）	伊豆の国市	狩野川	韮山古川	韮山古川	橋梁上部工	狩野川
31	総流防（広域一般2）	静岡市	庵原川	庵原川	庵原川	護岸工	安倍川
32	総流防（利用推進2）	浜松市	都田川	浜名湖	浜名湖（佐浜）	浚渫工	天竜川
33	総流防（流貯2）	静岡市	巴川	巴川	巴川（静岡東高校）	擁壁・側溝工	安倍川
34	総流防（準用1）	富士市	富士川	下堀川	下堀川	護岸工・用地補償費	富士川
35	総流防（準用1）	静岡市	安倍川	大沢川	大沢川	護岸工、橋梁工	安倍川
36	総流防（準用1）	浜松市	天竜川	大堀川	大堀川	護岸工、橋梁工	天竜川
37	総流防（堤防質的改良）	袋井市	太田川	原野谷川	原野谷川	堤防補強	天竜川
38	統合環境	浜松市	都田川	新川	佐鳴湖	河道底質改善	天竜川
39	統合環境	静岡市	巴川	巴川	麻機遊水地	ダイオキシン対策	安倍川
40	総流防（情報）	全県					
41	総流防（ハザードマップ）	掛川市外3市町					

ダム事業（国庫補助事業）

NO	事業名	市町村名	水系名	河川名（地区名）	工区名	主な事業内容	圏域名
1	河川総合開発	森町	太田川	太田川	太田川ダム	本体工	天竜川
2	小規模生活調整池	静岡市	興津川	布沢川	布沢川ダム	工事用道路工	安倍川

砂防事業（国庫補助事業）

NO	事業名	市町名	水系名	河川名	箇所名	主な事業内容	圏域名
1	通常砂防	下田市	稲生沢川	稲生沢川	上藤原川	砂防えん堤工	狩野川
2	火山砂防	東伊豆町	濁川	濁川	濁川	砂防えん堤工	狩野川
3	火山砂防	河津町	河津川	河津川	桃の木沢	砂防えん堤工	狩野川
4	通常砂防	西伊豆町	宇久須川	大久須川	大久須川	砂防えん堤工	狩野川
5	通常砂防	西伊豆町	安良里坂本川	安良里坂本川	安良里坂本川	砂防えん堤工	狩野川
6	火山砂防	熱海市	鍛冶川	鍛冶川	鍛冶川支川	砂防えん堤工	狩野川
7	火山砂防	熱海市	千歳川	千歳川	水ノ口川	測量調査設計	狩野川
8	火山砂防	伊東市	伊東宮川	伊東宮川	塩木道沢	砂防えん堤工	狩野川
9	火山砂防	伊東市	向田川	向田川	向田左沢	測量調査設計	狩野川
10	特定緊急砂防	伊東市	烏川	多賀地川	多賀地川	砂防えん堤工	狩野川
11	火山砂防	沼津市	立保川	立保川	立保川	砂防えん堤工	狩野川
12	火山砂防	沼津市	陰野川	陰野川	甚根路川	砂防えん堤工	狩野川
13	火山砂防	沼津市	戸田大川	戸田大川	茨原川	砂防えん堤工	狩野川
14	火山砂防	裾野市	狩野川	泉川	入田川	砂防えん堤工	狩野川
15	火山砂防	裾野市	狩野川	佐野川	須山滝ノ沢	測量調査設計	狩野川
16	火山砂防	伊豆市	小土肥大川	小土肥大川	寸場川	砂防えん堤工	狩野川
17	火山砂防	伊豆の国市	狩野川	谷戸川	守木山田川	用地買収	狩野川
18	火山砂防	函南町	狩野川	柿沢川	丹那沢	砂防えん堤工	狩野川
19	火山砂防	小山町	鮎沢川	鮎沢川	金時川	砂防えん堤工	狩野川
20	通常砂防	静岡市	安倍川	足久保川	栗尾沢	砂防えん堤工	安倍川
21	通常砂防	静岡市	安倍川	丸子川	セリガ谷沢	砂防えん堤工	安倍川
22	通常砂防	静岡市	安倍川	丸子川	立川	砂防えん堤工	安倍川
23	通常砂防	静岡市	巴川	巴川	沢の谷沢	測量調査設計	安倍川
24	通常砂防	静岡市	巴川	大谷川放水路	長沢川3号支川	砂防えん堤工	安倍川
25	通常砂防	静岡市	巴川	牛ヶ谷川	天白沢左支川	砂防えん堤工	安倍川
26	通常砂防	静岡市	興津滝の沢	興津滝の沢	興津滝の沢	砂防えん堤工	安倍川
27	通常砂防	静岡市	中ノ谷沢	中ノ谷沢	中ノ谷沢右支川	砂防えん堤工	安倍川
28	通常砂防	静岡市	小坂川	小坂川	小坂川	測量調査設計	安倍川
29	通常砂防	藤枝市	瀬戸川	葉梨川	ビワ沢	砂防えん堤工	大井川
30	通常砂防	岡部町	瀬戸川	岡部町	小胡挟沢	測量調査設計	大井川
31	通常砂防	掛川市	太田川	太田川	黒俣沢奥沢	砂防えん堤工	天竜川
32	通常砂防	磐田市	天竜川	上野部川	中組沢	測量調査設計	天竜川
33	通常砂防	浜松市	天竜川	二俣川	ヒノキ沢	砂防えん堤工	天竜川
34	通常砂防	浜松市	天竜川	天竜川	渡ヶ島寺沢	測量調査設計	天竜川
35	通常砂防	浜松市	天竜川	水窪川	竜戸南沢	砂防えん堤工	天竜川
36	通常砂防	浜松市	天竜川	気田川	奥沢	測量調査設計	天竜川
37	特定緊急砂防	浜松市	天竜川	天竜川	河内沢川	渓流保全工	天竜川
38	通常砂防	浜松市	都田川	井伊谷川	ネイヤ窪沢	砂防えん堤工	天竜川
	情報基盤	全県					
	相互通報	全県					
	基礎調査	全県					

地すべり事業（国庫補助事業）

NO	事業名	市町名	－	－	箇所名	主な事業内容	圏域名
1	地すべり	静岡市	－	－	口坂本	集水ボーリング工	安倍川
2	特定緊急地すべり	島田市	－	－	神尾	横ボーリング工	大井川
3	特定緊急地すべり	藤枝市	－	－	滝沢	吹付法枠工	大井川
4	地すべり	掛川市	－	－	滝之谷川	横ボーリング工	天竜川
5	地すべり	掛川市	－	－	滝之谷川No.2	横ボーリング工	天竜川
6	地すべり	掛川市	－	－	上川原	集水ボーリング工	天竜川
7	地すべり	浜松市	－	－	静修	抑止杭工	天竜川
8	地すべり	浜松市	－	－	金川開拓	横ボーリング工	天竜川
9	地すべり	浜松市	－	－	大滝	集水ボーリング工	天竜川
10	地すべり	浜松市	－	－	上村	集水ボーリング工	天竜川
11	地すべり	浜松市	－	－	向島	集水井工	天竜川
12	地すべり	浜松市	－	－	本村	集水井工	天竜川
	情報基盤	全県					
	相互通報	全県					
	基礎調査	全県					

急傾斜地崩壊対策事業（国庫補助事業）

NO	事業名	市町名	箇所名	主な事業内容	圏域名
1	急傾斜	下田市	河内片瀬	擁壁工	狩野川
2	急傾斜	下田市	西本郷一丁目	擁壁工	狩野川
3	急傾斜	下田市	田牛三太山	擁壁工	狩野川
4	急傾斜	河津町	見高浜	擁壁工	狩野川
5	急傾斜	南伊豆町	二條八反田	擁壁工	狩野川
6	急傾斜	南伊豆町	下賀茂日詰	擁壁工	狩野川
7	急傾斜	南伊豆町	加納森山	擁壁工	狩野川
8	急傾斜	松崎町	岩地郷戸	擁壁工	狩野川
9	急傾斜	松崎町	石部小平野	擁壁工	狩野川
10	急傾斜	松崎町	横田久命	擁壁工	狩野川
11	急傾斜	西伊豆町	仁科渋川	擁壁工	狩野川
12	急傾斜	熱海市	伊豆山坂東	法枠工	狩野川
13	急傾斜	伊東市	宇佐美向田	擁壁工	狩野川
14	急傾斜	小山町	西沢No.2	擁壁工	狩野川
15	急傾斜	三島市	市山新田No.2	法枠工	狩野川
16	急傾斜	沼津市	江浦四面坂	擁壁工	狩野川
17	急傾斜	伊豆の国市	宗光寺横山段	擁壁工	狩野川
18	急傾斜	伊豆の国市	神島小室	擁壁工	狩野川
19	急傾斜	伊豆の国市	熊ヶ谷	擁壁工	狩野川
20	急傾斜	伊豆市	小立野	擁壁工	狩野川
21	急傾斜	伊豆市	小土肥出口	擁壁工	狩野川
22	急傾斜	伊豆市	下船原	擁壁工	狩野川
23	急傾斜	伊豆市	土肥中村	擁壁工	狩野川
24	急傾斜	伊豆市	上船原浜井場	擁壁工	狩野川
25	急傾斜	伊豆市	横瀬	擁壁工	狩野川
26	急傾斜	伊豆市	上船原沢尻	擁壁工	狩野川
27	急傾斜	芝川町	芝川大久保	擁壁工	富士川
28	急傾斜	由比町	陣笠山	擁壁工	安倍川
29	急傾斜	由比町	寺下	擁壁工	安倍川
30	急傾斜	静岡市	中河内向田	擁壁工	安倍川
31	急傾斜	静岡市	日向中村	擁壁工	安倍川
32	急傾斜	静岡市	春日3丁目	法枠工	安倍川
33	急傾斜	静岡市	横山	擁壁工	安倍川
34	急傾斜	静岡市	丸子芹ヶ谷町b	擁壁工	安倍川
35	急傾斜	静岡市	松富大石a	擁壁工	安倍川
36	急傾斜	静岡市	丸子芹ヶ谷町a	擁壁工	安倍川
37	急傾斜	岡部町	岡部廻沢	擁壁工	大井川
38	急傾斜	岡部町	桂島谷川口	擁壁工	大井川
39	急傾斜	藤枝市	岡出山	法枠工	大井川
40	急傾斜	島田市	伊久美二俣	擁壁工	大井川
41	急傾斜	島田市	尾川代ノ田	擁壁工	大井川
42	急傾斜	島田市	相賀祢宜地	擁壁工	大井川
43	急傾斜	川根本町	久野脇三ツ間	擁壁工	大井川
44	急傾斜	川根本町	藤川照尾	擁壁工	大井川
45	急傾斜	川根本町	水川上出	擁壁工	大井川
46	急傾斜	川根町	笹間下上河内上	擁壁工	大井川
47	急傾斜	牧之原市	宮本	擁壁工	大井川
48	急傾斜	牧之原市	勝俣新戸	擁壁工	大井川
49	急傾斜	牧之原市	柿ヶ谷	擁壁工	大井川
50	総流防（急傾斜）	御前崎市	新野木ヶ谷	擁壁工	大井川
51	急傾斜	菊川市	東平尾	擁壁工	菊川
52	急傾斜	菊川市	神明前	擁壁工	菊川
53	急傾斜	菊川市	八幡ヶ谷	擁壁工	菊川
54	総流防（急傾斜）	掛川市	宇洞	擁壁工	天竜川
55	急傾斜	浜松市	上平田	擁壁工	天竜川
56	急傾斜	浜松市	東雲名島	擁壁工	天竜川
57	急傾斜	浜松市	渡ヶ島久保	擁壁工	天竜川
58	急傾斜	浜松市	両島瀬林	擁壁工	天竜川
59	急傾斜	浜松市	西川	法枠工	天竜川
60	急傾斜	浜松市	矢島東	法枠工	天竜川
61	急傾斜	浜松市	長尾宝平	擁壁工	天竜川
62	総流防（急傾斜）	浜松市	富塚小学校西	擁壁工	天竜川
	情報基盤	全県			
	相互通報	全県			
	基礎調査	全県			

５．水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

（１）県全体の水害・土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

・静岡県は日本のほぼ中央、太平洋に面した位置にあり、東西 155km、南北は118km、面積は 7,779km2 で全国 13 位の広さです。

①自然的特性

・地形：北は富士山、南アルプス連峰の山々が連なり、南側には最深 3,000m以上もある駿河トラフを抱え、急峻かつ変化に富んでいます。

・地質：当県の地質は、さまざまな地質により成り立っており、北から南に､領家・三波川・秩父帯、四万十帯、瀬戸川帯及び大井川丹沢帯が形成時期の順に西から並び、これらに沿って、糸魚川－静岡構造線で代表されるフォッサマグナの断層群があります。

　また、富士山や伊豆半島の新しい火山群など地熱活動の盛んな地域もあり、当県は多種多様にわたる脆弱で崩壊しやすい地質の地盤が全県に分布しています。

・ 気候：年平均気温は、16℃前後と温暖です。

　また、年平均降水量も 2,300mm と全国平均（1,800mm）を上回っています。

・地震：近い将来には、東海地震が発生し、駿河湾及び遠州灘には、津波が押し寄せることが想定されています。

②社会特性

・東京、名古屋などの大消費地をひかえ、交通条件にも恵まれていることから、多彩な産業が集積しています。

　全国一のお茶や桜えび等の農林水産業に加え、製紙、楽器、オートバイ、自動車など各種工業が盛んで、その出荷額は全国３位に位置しています。

・平野は、狩野川、富士川、安倍川、大井川、菊川、天竜川の下流部にあり、人口の大半が浸水区域に集中しています。

　そこには日本の交通の要衝となる、JR 東海道線、東海道新幹線、東名高速道路、国道１号等が通っています。

③過去の災害特性

・当県は、地形、地質や気象条件により多くの災害が発生しており、土砂災害の過去 10 年間の平均発生件数は約 47 件で全国平均のおよそ 2 倍となっています。

・県東部、伊豆半島では、昭和 33 年狩野川台風、昭和 53 年 1 月伊豆大島近海地震、平成 3 年 9 月豪雨、平成 10 年 8 月豪雨、平成 16 年 10 月台風 22 号等により、貴重な人命や財産が失われる甚大な被害が発生しています。

・昭和 49 年 7 月七夕豪雨では、多くのがけ崩れにより 21 名が犠牲となった静岡市を中心に、全県の至る所で水害・土砂災害が発生し貴重な人命や財産が失われる記録的な災害が発生しました。

・県西部の北遠地域には急峻な地形と中央構造線沿いには脆い地質が分布していることから、地すべりやがけ崩れ災害が頻発しており、平成 10 年 10 月の台風 10 号のがけ崩れでは貴重な人命や財産が失われる甚大な被害が発生しています。

１）水害対策の現状の課題と当面の進め方

現在、国管理河川の整備率は約 61.8%、県管理河川の整備率は約 50.2%（要整備延長に対する整備済み延長）と低い状態にあり、県内では毎年のように浸水被害が発生しています。

このため、県民の皆様の安全、安心な生活を守るために、水害を軽減する河川整備が強く求められています。

しかし、厳しい財政状況の中、河川整備への予算も年々減少しています。そのため、災害河川や、床上浸水被害軽減への重点投資など効果的な事業実施を目指します。

平成１６年に頻発した風水害・震災を受け、国土交通省は同年１２月に「豪雨災害対策緊急アクションプラン」をとりまとめました。

これをうけ、静岡県内の国土交通省各事務所においてもハザードマップ作成の技術的支援を主目的とした「災害情報普及支援室」を設け、市町村に対し情報提供・助言等を行ってきました。平成１７年には支援の拡充・支援窓口の集約を行い「地域総合支援室」となり、洪水予測に関する技術的支援や災害時の対策機器等の派遣についても実施しております。

また、県では、近年頻発する局地的な集中豪雨に伴う浸水常襲区域の被害対策に向け、昨年度「豪雨災害対策アクションプラン策定事業」を創設しました。この事業は、河川整備だけでなく、下水道や湛水防除による内水対策、流域における貯留浸透施設の設置、適切な土地利用の誘導や、森林保全などの流域対策について、市町など関係機関が一体となって、総合的な雨水排水対策を推進する行動計画であり、県内５箇所で策定します。この計画に基づき、県では、今年度、緊急河川改善事業を新たに創出し、巴川外２１河川で整備を実施します。

また、地域の警戒避難体制の整備を図るハザードマップの作成支援等のソフト対策も併せて実施します。

さらに、発生が予想される東海地震に伴う津波対策についても引き続き実施します。

２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

このような状況から、人命を守る上では、施設整備（ハード対策）による土砂災害対策を着実に進めるとともに、大雨の時や土砂崩れ等の前兆現象がみられた時には、速やかに避難することができる体制づくりが重要です。

このため、土砂災害のおそれのある区域を明らかにし、市町による警戒避難体制の整備を促進するための土砂災害警戒区域等の指定や、市町による避難勧告等に必要な情報提供が出来るようソフト対策を推進しており、県と静岡地方気象台が共同発表する土砂災害警戒情報については、平成 19 年 6 月 15 日に運用を開始しています。平成 19 年 7 月の台風 4 号による豪雨では、15 市町、16 地区に土砂災害警戒情報を発表しています。

３）水害・土砂災害における総合的な危機管理対策

従来からのハード対策に加え、市町と連携してソフト対策を推進することにより、地域の防災力を高めるよう、次のような総合的な水害･土砂災害対策に取り組みます。

・警戒避難体制の整備・強化（災害情報協議会の設置、ハザードマップの作成支援、土砂災害警戒区域等の指定、防災訓練・防災講習会の実施）

・災害情報の伝達・提供（雨量や水位の情報に加え、住民への避難勧告等の発令基準となる情報の提供）

静岡県では過去、宝永４年から翌年にかけて地震・噴火・水害が連続して発生した複合型の災害の歴史があり、平成１９年は宝永地震と富士山噴火から３００年にあたります。　近年、東海・東南海地震が危惧されていることもあり、平成１９年５月２７日、安倍川にて連合水防演習を主体に、地震等の対応を取り入れた「平成１９年度　安倍川連合水防演習・複合型災害防災実動訓練」を実施しました。訓練にあたっては、国・県・市町だけでなく、警察・消防・自衛隊及びライフライン関係企業も参加し、連携して複合型災害に対応しました。

この演習を通じ、大規模災害発生時における関係各機関の連携の必要性が確認され、平成１９年７月３１日に「大規模災害応急活動連携懇談会」が設置されました。この懇談会では、関係各機関の応急活動・情報共有等について意見交換を行い、課題の検討と普段からの連携の強化を図ってゆきます。

（２）狩野川圏域

１）水害対策の現状の課題と当面の進め方

狩野川水系については、既往最大洪水（昭和 33 年 9 月狩野川台風洪水）を目標とする河川整備基本方針の整備水準に向けて、段階的に整備を進めることとし、当面の目標として平成 17 年 12 月に策定した「狩野川水系河川整備計画」に基づき整備を推進します。

整備計画では、狩野川台風に次ぐ規模の洪水（概ね 50 年に 1 回発生する規模の洪水に相当）を安全に流下させることを目標としています。

現状としては、本川及び支川黄瀬川等において堤防が整備されていない区間や堤防の高さや幅が不足している区間が残されており、特に本川と支川黄瀬川との合流部付近では、無堤区間や橋梁改築を伴う堤防要整備区間が残っています。

当面の事業の進め方として、本川下流部における無堤部の木瀬川地区の堤防整備を行うとともに密集市街地では特殊堤による堤防整備や河道掘削を実施し、洪水被害の軽減を目指します。

支川黄瀬川については整備計画目標流量を流すために、河積阻害となっている黄瀬川橋の改築事業を推進します。

また、平成 16 年 10 月の台風 22 号、平成 17 年 8 月の台風 11 号など近年の出水で毎年のように大きな内水による浸水被害を受けている四日町地区(伊豆の国市)、小坂地区(伊豆の国市)では排水ポンプの増強及び戸沢川、韮山古川での河川改修を進めるほか、宗光寺地区(伊豆の国市)など内水被害常襲地区では、国、県、市町、地域と連携・調整し必要な対策を実施します。

他の狩野川中流域では、三島山田川、境川、下流域では沼津江川、黄瀬川流域では、梅の木沢川で河川改修を実施するとともに、大場川流域において流域貯留施設を整備し、被害の軽減に努めています。

また、鯉名川、修善寺川、土肥山川の一部区間では、局所的に流下能力が低下しており、災害の危険性が高い箇所が見受けられることから河川の拡幅などを緊急河川改善事業で実施します。

ソフト対策としては、浸水被害の常襲地域を中心に水位計の設置を行い、洪水避難支援の高度化を図っていきます。また、洪水被害の軽減が出来るよう洪水ハザードマップ作成支援などを進めています。

２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

平成 15 年 7、8 月豪雨により狩野川上流域南西部を中心とした地域で土石流・山腹崩壊等の土砂災害、平成 16 年 10 月の台風 22 号の暴風雨により狩野川上流域全域で山腹崩壊が多数発生するなど、流域内には未だに不安定土砂が大量に堆積しています。

また、平成 10 年 8 月豪雨、平成 15 年 4 月豪雨などによっても、住宅等に被

害をもたらす土砂災害が発生しています。

当面の事業の進め方として、狩野川上流域では災害によって堆積した不安定土砂が下流域に流出する恐れがあるため、床固工群の整備を継続実施するとともに、流域の荒廃状況を考慮したうえで、砂防えん堤の整備に取り組みます。

なお、国有林内では治山事業との連携を図りながら事業を進めます。

また、静岡県では、住宅とあわせて幼稚園や鉄道を保全する「塩木道沢（伊東市）」等の砂防事業、住宅を保全する「下船原(伊豆市)」等の急傾斜地崩壊対策事業の施設整備を効率的に進め、事業効果の早期発現を図ります。

ソフト対策としては、平成 19 年 3 月 31 日現在、熱海市外 6 市 2 町で 199 箇所の土砂災害警戒区域(うち土砂災害特別警戒区域:119 箇所)を指定しており、今後も区域指定を進め、市町による住民の警戒避難体制の整備を促進します。

（３）富士川圏域

１）水害対策の現状の課題と当面の進め方

富士川の静岡県区間においては、戦後最大の洪水である昭和 57 年 8 月洪水で浸水被害があった地区の整備が平成 11 年度までに完了し、高潮堤防については平成 10 年度に整備が完了しています。

富士川の扇状地では、下流低平地に交通機関や住宅等の資産が集中していますが、流下能力が低い河川が多く、近年では平成 15 年 7 月、平成 16 年 10 月及び平成 17 年 7 月の豪雨及び平成 19 年 7 月の台風 4 号により床上・床下浸水被害が毎年発生しています。

このため、沼川、新中川では、広域基幹河川改修事業で、稲瀬川では総合流域防災事業、富士早川では都市基盤河川改修事業を、合わせて伝法沢川、和田川では、県単河川改良事業を実施します。また、富士市では総流防事業で下堀川の河川改修など浸水被害の解消を図るべく整備を推進しています。

また、高橋川、和田川、風祭川の一部区間では、局所的に流下能力が低下しており、災害の危険性が高い箇所が見受けられることから河川の拡幅などを緊急河川改善事業で実施します。

富士川では、平成 15 年の洪水で河岸浸食の災害が起きており、また、東海地震による被害が懸念されることから、水防活動及び洪水、高潮や地震等の被災時における堤防等河川管理施設の復旧活動を支援する防災拠点の整備に向け関係市町と調整を図ります。

また、東海地震等の災害時における、緊急的な輸送路となる緊急用河川敷道路の整備を推進していきます。

ソフト対策としては水防警報河川である潤井川やその流域を中心に CCTV カメラや光ファイバー、水位計の設置を行い、洪水避難支援の高度化を図っていきます。また、洪水被害の軽減が出来るよう洪水ハザードマップ作成支援などを進めています。

２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

富士山麓では、大沢崩れを発生源とした土石流や、スラッシュ雪崩による土石流等、多様な形態の土砂流出が生じており、昭和 47 年、昭和 54 年には土石流による大きな被害が発生しています。又、平成 19 年 3 月に、富士山周辺でスラッシュ雪崩が発生し、富士山スカイラインで被害が発生しました。

富士山麓の砂防工事の施工は、大沢崩れ対策は国が、富士山の南西山麓は、国と県が連携して砂防施設の整備を行っています。

当面の事業の進め方として、昭和 47 年の土石流災害をはじめ、近年においても平成 12 年 11 月及び平成 16 年 12 月に土石流が発生している大沢扇状地において、遊砂地整備を重点的に実施します。

また、潤井川の支川及び沼川の支川においても、脆弱な火山地質が広く分布

しており、土砂生産が活発であり、砂防えん堤の整備を実施します。

富士山は、新富士火山が形成された約1万年以降も噴火活動を繰り返しており、有史以降にも、火山活動が発生しています。

1707年の宝永噴火以来、現在まで約300年間静穏を保っていますが、ひとたび噴火が発生すると甚大な災害が発生すると予測されています。

富士山の火山活動による土砂災害防止のため、富士山火山砂防計画及び富士山火山噴火減災対策砂防計画の検討や、富士山の観測システムの整備、関係機関との連携を進めます。

ソフト対策としては、富士山における土石流流下の監視を行うための、光ファイバーやCCTVの設置を行う情報基盤整備を進めており、地域の方々に、早期に発生情報を知らせるよう、富士宮市役所等へ情報提供を行っています。

また、静岡県では、住宅とあわせて医院を保全する「芝川大久保（芝川町）」の急傾斜地崩壊対策事業の施設整備を効率的に進め、事業効果の早期発現を図ります。

ソフト対策としては、平成19年3月31日現在、富士宮市で8箇所の土砂災害警戒区域（うち土砂災害特別警戒区域：6箇所）を指定しており、今後も区域指定を進め、市町による住民の警戒避難体制の整備を促進します。

（４）安倍川圏域

１）水害対策の現状の課題と当面の進め方

安倍川では砂利採取規制以後、下流部では河床上昇傾向が続いており、低水路河床高が高水敷の高さに迫るほど上昇し、高水敷や堤防が洗堀されるなどの被害が平成 12 年 9 月洪水、平成 15 年 8 月洪水など頻繁に発生し、堤防の安全性が著しく低下しています。

このような状況を踏まえ、「安倍川治水対策検討委員会」を設置して検討を行い、河道掘削を実施するとともに、左岸 3．25km～8.5km 区間を「緊急対策特定区間」として設定し、堤防強化等の質的整備を平成２０年度の事業完了を目指し実施しています。

安倍川水系については、河川整備基本方針に基づき概ね 150 年に 1 回発生する規模の洪水を安全に流下させることを目標としていますが、当面、昭和５４年１０月洪水相当の流量に対応するため、堤防整備等を実施し、流下能力の段階的向上を図ります。

巴川、丸子川などでは下流低平地に住宅等の資産が集中しており、近年では平成 10 年 9 月、平成 15 年 7 月及び平成 16 年 6 月の集中豪雨により床上・床下浸水被害が発生しています。

静岡県においては巴川流域で昭和 49 年の 7 月の七夕豪雨で甚大な被害を受けたことを契機に、総合治水対策事業に着手しました。現在は 1/5 確率規模（時間雨量 58㎜）に対応した整備を完了し、1/10 確率規模（時間雨量 69ｍｍ）の降雨に対する治水安全度の確保を目指して事業実施中です。

また、洪水時の流出抑制を図るため併せて総合流域防災事業により流域貯留事業を推進し、被害の解消を図っています。

巴川、大沢川、八十岡川、小瀬戸谷川、丸子川の一部区間では、局所的に流下能力が低下しており、災害の危険性が高い箇所が見受けられることから河川の拡幅などを緊急河川改善事業で実施します。

ソフト対策としては巴川流域を中心に、CCTV カメラや光ファイバー、水位計の設置を行い、洪水避難支援の高度化を図っていきます。また、洪水被害の軽減が出来るよう洪水ハザードマップ作成支援などを進めています。

布沢川では小規模生活調整池となる布沢川ダムの整備を進めており、工事用道路工を実施しています。

静岡市においては、県から移譲を受けた二級河川浜川、一級河川大門川で都市基幹河川改修事業、大沢川で準用河川改修事業を実施中です。

また、平成 15 年 7 月、平成 16 年 6 月に 2 年連続で大きな浸水被害が市内各地に発生したことを契機に、平成 18 年 2 月に「静岡市浸水対策推進プラン」を公表し、河川、水路の改修、下水道の整備などの基幹施設対策、及び学校、公園等の公共施設を利用した雨水貯留施設の整備などの雨水流出抑制対策を進めています。

なお、平成１９年４月より、雨水流出抑制対策の推進を図るため、個人住宅を対象とした雨水貯留浸透施設の設置における補助制度も拡充し、制度活用の促進に向けて取り組んでいます。

２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

安倍川の流域には大谷崩れをはじめ多くの崩壊地が分布しています。このため、大きな洪水の度に多量の土砂が流出し幾度となく大きな被害を出しています。

近年では、平成 10 年 4 月の豪雨、平成 15 年 7 月の梅雨前線豪雨及び平成 17 年 7 月の梅雨前線豪雨により住宅等に被害をもたらす土砂災害が発生しています。

当面の砂防事業としては、大谷崩れをはじめ上流域での大規模な土砂生産、流出を防止し、地域の生活基盤を保全するため、ハード・ソフト両面から土石流危険渓流における対策事業を展開します。

国の地すべり対策事業としては、由比町において、豪雨や地震により地すべりが発生した場合、日本の大動脈である重要交通網（国道１号・東名高速道路・JR 東海道本線）に大きな被害が予想されるため、平成１７年度から直轄地すべり対策事業に着手しています。

当面の事業展開としては、地下水排除工を優先して行います。

また、静岡県では、平成 15 年 7 月の梅雨前線豪雨により土砂災害が発生し、住宅と市道を保全する「セリガ谷沢（静岡市）」等の砂防事業、県内で最大規模の「口坂本（静岡市）」の地すべり対策事業、平成 17 年 7 月の梅雨前線豪雨により災害が発生したため再度災害を防止する「寺下（由比町）」等の急傾斜地崩壊対策事業の施設整備を効率的に進め、事業効果の早期発現を図ります。

ソフト対策としては、平成 19 年 3 月 31 日現在、静岡市で 84 箇所の土砂災害警戒区域（うち土砂災害特別警戒区域：50 箇所）を指定しており、今後も区域指定を進め、市町による住民の警戒避難体制の整備を促進します。

（５）大井川圏域

１）水害対策の現状の課題と当面の進め方

大井川水系については、基準地点神座より下流河道の計画高水流量を9,500m3/s とする、大井川水系河川整備基本方針を平成 18 年 11 月に策定し、築堤・掘削・護岸・水制等の整備を行うとともに、平成 14 年 3 月に完成した長島ダムによる洪水調節を行っていきます。

当面の目標としては、流下能力が不足している牛尾地区狭窄部において、築堤護岸等の河道整備により治水安全度の段階的向上を図ります。

大井川の扇状地を中心とする志太榛原地区の河川は、下流地域に住宅等の資産が集中しており、近年は平成 10 年 9 月及び平成 16 年 11 月の豪雨により床上・床下浸水による被害が発生しています。このため、朝比奈川、石脇川、萩間川で広域基幹河川改修事業により浸水被害の解消を図るべく整備を推進しています。

高草川、勝間田川の一部区間では、局所的に流下能力が低下しており、災害の危険性が高い箇所が見受けられることから河川の拡幅などを緊急河川改善事業で実施します。

また、地震・高潮対策（耐震）事業として、勝間田川の水門事業に着手しています。

ソフト対策としては水防警報河川である瀬戸川やその流域を中心に、CCTV カメラや光ファイバー、水位計の設置を行い、洪水避難支援の高度化を図っていきます。

また、洪水被害の軽減が出来るよう洪水ハザードマップ作成支援などを進めています。

２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

近年では、平成 15 年 8 月の豪雨、平成 16 年 10 月の台風 22 号等により住宅等に被害をもたらす土砂災害が発生しています。

当面、住宅と市道を保全する「ビワ沢（藤枝市）」等の砂防事業、昨年 7 月の梅雨前線豪雨により地すべり活動が活発化した「滝沢（藤枝市）」等の地すべり対策事業、緑の斜面対策工法を採用している「岡出山（藤枝市）」等の急傾斜地崩壊対策事業の施設整備を効率的に進め、事業効果の早期発現を図ります。

ソフト対策としては、平成 19 年 3 月 31 日現在、藤枝市外 2 市で 59 箇所の土砂災害警戒区域（うち土砂災害特別警戒区域：44 箇所）を指定しており、今後も区域指定を進め、市町による住民の警戒避難体制の整備を促進します。

（６）菊川圏域

１）水害対策の現状の課題と当面の進め方

菊川については、昭和８年の直轄改修着手以来、蛇行する河川を直線化する捷水路事業や内水対策として排水機場の整備等を実施してきました。

しかし、近年においても平成１０年９月洪水・平成１６年１０月洪水など浸水被害を受けており、治水の安全度は依然として低い状態です。

当面の進め方として、平成１０年９月洪水相当の流量に対応するため、河道の掘削等による河道整備により、流下能力の段階的向上を図るとともに、内水被害及び耐震・津波に対する評価を行い、対策を実施します。

また、西方川では総合流域防災事業により、浸水被害の解消を図るべく整備を推進します。

ソフト対策としては、浸水被害の常襲地域を中心に水位計の設置を行い、洪水避難支援の高度化を図っていきます。また、洪水被害の軽減が出来るよう洪水ハザードマップ作成支援などを進めます。

２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

近年では、平成 10 年 9 月の豪雨等により住宅等に被害をもたらす土砂災害が発生しています。

当面は、住宅を保全する「神明前（菊川市）」等の急傾斜地崩壊対策事業の施設整備を効率的に進め、事業効果の早期発現を図ります。

ソフト対策としては、平成 19 年 3 月 31 日現在、菊川市で 24 箇所の土砂災害警戒区域を指定しており、今後も区域指定を進め、市町による住民の警戒避難体制の整備を促進します。

（７）天竜川圏域

１）水害対策の現状の課題と当面の進め方

天竜川については、基準地点鹿島より下流河道の計画高水流量を１４，０００m3／S とする工事実施基本計画を昭和４８年に策定し、これまで河道掘削や築堤護岸等の整備を行ってきましたが、未だ計画高水流量を安全に流下させる河道とはなっていません。

また、計画高水流量１４，０００m3／S は、上流ダム群で５，０００m3／S を調節することとしていますが、現状では新豊根ダムのみが完成しているだけで、今後天竜川ダム再編事業（現在実施計画調査中である）による洪水調節施設の整備が必要です。

国管理区間の当面の進め方として、戦後最大級の洪水相当の流量に対応するため、河道の掘削、樹木伐採等による河道整備により流下能力の段階的向上を図るとともに、土砂移動に関する調査・検討を行い、対策を実施します。

県管理河川の当面の進め方として、住宅等の資産が集中する下流低平地において、太田川、安間川、馬込川、都田川、一雲済川などで河川改修事業を実施し、平成 10 年 9 月及び平成 16 年 11 月の豪雨により発生している床上・床下浸水被害の解消を図るべく整備を推進しています。

また、垂木川、蟹田川、ぼう僧川、二俣川、気田川、馬込川、芳川、都筑大谷川、入出太田川では、局所的に流下能力が低下しており、災害の危険性が高い箇所が見受けられることから河川の拡幅などを緊急河川改善事業で実施します。

上流域では河川総合開発事業として太田川ダム本体のコンクリート打設に平成１７年度末から着手しています。

ソフト対策としては水防警報河川である都田川と太田川やその流域を中心に CCTV カメラや光ファイバー、水位計の設置を行い、洪水避難支援の高度化を図っていきます。

また、洪水被害の軽減が出来るよう洪水ハザードマップ作成支援などを進めています。

浜松市においては、県から移譲を受けた二級河川九領川の整備を、区画整理事業とも連携して促進するとともに、ソフト対策として二級河川都田川と二級河川井伊谷川の洪水ハザードマップを作成します。

２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

近年では、平成 10 年 9 月の豪雨、平成 17 年 7 月の梅雨前線豪雨等により住宅等に被害をもたらす土砂災害が発生しています。

当面、住宅と重要な生活道路を保全する「黒俣沢奥沢（掛川市）」等の砂防事業、住宅とあわせて災害時要援護者施設と緊急輸送路を保全する「向島（浜松市）」等の地すべり対策事業、住宅を保全する「上平田（浜松市）」、「東雲名島

（浜松市）」等の急傾斜地崩壊対策事業の施設整備を効率的に進め、事業効果の早期発現を図ります。

ソフト対策としては、平成 19 年 3 月 31 日現在、浜松市外 3 市 1 町で 308 箇所の土砂災害警戒区域（うち土砂災害特別警戒区域:147 箇所）を指定しており、今後も区域指定を進め、市町による住民の警戒避難体制の整備を促進します。